

50

【50期】NPO法人ドットジェイピー 活動報告書

2022 October __ 2023 March

もくじ

●目次	P3
●団体概要	P4

【インターシップ事業】

●参加学生データ	P6
●学生意識調査	P7
●受入議員・機関・団体データ	P8
●受入議員・機関・団体一覧	P9-12
●協力大学一覧	P13

【未来事業】

●未来自治体2023	P16-20
●未来自治体	P21
●未来自治体リーダーシミュレーション	P22

【その他の事業・実績】

●書籍関連	P25
●メディア掲載実績	P26-28
●ご協賛企業一覧	P29

団体概要

団体概要

団体名称	特定非営利活動法人ドットジェイピー	創 業	1998年2月14日
通常表記	NPO法人ドットジェイピー	法人設立	2000年11月22日
英文表記	Dot-jp,NonprofitOrganization		

所在地

本 部	〒102-0082 東京都千代田区麹町2-10-2 プレミアムオフィス麹町304
エリア	●北海道エリア ●宮城エリア ●山形エリア ●福島エリア ●茨城エリア ●千葉エリア ●東京エリア ●神奈川エリア ●愛知エリア ●三重エリア ●関西エリア ●広島エリア ●香川エリア ●福岡エリア ●長崎エリア ●熊本エリア ●宮崎エリア ●鹿児島エリア

活動目的

若年投票率の向上

事業内容

1. インターンシップ・コーディネート事業
2. 地域活性化に関する諸フォーラム及びセミナーの開催
3. 広報事業

代表者

佐藤 大吾(理事長)

役 員

役 員	理事 佐藤 大吾 (理事長) 理事 水谷 正美 (副理事長) 理事 村崎 浩史 監事 名和 道紀 (公認会計士・名和会計事務所)	木村 亮太 (大阪府枚方市議会議員)
事務局長	松永 英也	山崎 清昭
評議員	石田 芳弘 (伊達コミュニケーション研究所 所長) 後 房雄 (名古屋大学大学院法学研究科 教授) 倉田 薫 (池田市日中友好協会会長) 河内山 哲朗 (公益財団法人松下政経塾 塾長) 竹下 譲 (自治体議会政策学会 会長) 橋本 大二郎 (テレビ番組キャスター) 穂坂 邦夫 (NPO法人地方自立政策研究所代表) 山内 直人 (大阪大学国際公共政策研究科教授)	東野 宏基
特別顧問	与良 正男 (毎日新聞専門編集委員)	山田 拓
顧問	松野 豊 (茨城県境町 参与) 友田 景 (株式会社bizデザイン大阪 代表取締役) 本田 勝裕 (キャリアソリューションスト) 吉山 勇樹 (株式会社ハイブリットコンサルティング 代表取締役CEO)	石原田 拓郎
		佐藤 翔太
		菅野 雄太
		大川 真司
		大竹 祐登
		大井 健史
		伏見 晃一
		山田 光
		中山 智貴
		儘田 秋水
		大濱 暢祐
		黒岩 大輝
		前田 一帆
		川原 功也
		中田 卓宏
		大林 まいこ
		小山 智加
		藤浦 啓伍

学生スタッフ

北海道、宮城、山形、福島、栃木、茨城、千葉、東京、神奈川、静岡、愛知、三重、関西、岡山、広島、香川、福岡、長崎、熊本、鹿児島、20エリア合計で、約660名。

※()内は、2023年3月31日現在のものです。

ソーシャルインターンシッププログラム

●『若者と政治を結ぶ』 ～議員インターンシッププログラム

社会に対する知識を養い、貢献する意識を高める事を目的とし、
ひいては団体のミッション「若年投票率の向上」に貢献する事を目指しています。
将来政治家になりたい学生だけでなく、
民間企業・公務員・法曹・その他様々な希望進路を持った学生が参加し、
それぞれの進路で経験を活かしながら、活躍しています。

●『日本ってどんな国？』 ～グローバルインターンシッププログラム

海外に出ると必ず聞かれるこの質問に対し、行動に基づいた正しい知識を有し、
現状を認識した上で世界に対して堂々と自分の意見を述べられる人材。
そのような人材こそが、グローバル化が進展する次世代に求められています。
国内の各国公的機関などで、実務を経験しながら、
世界と日本のつながりを知る体験プログラムを提案しています。

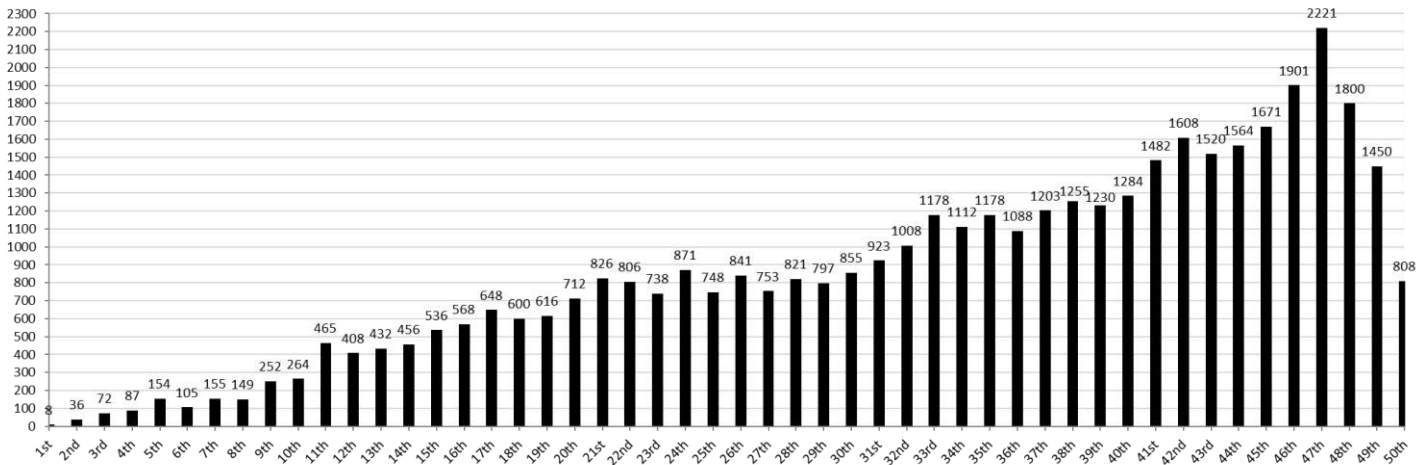
●『自分には何ができるか』 ～NPOインターンシッププログラム

NPO機関はその国の制度や社会システムでは十分に救済出来ない人々や問題に対して、
解決策を模索し提示・実践するという、とても大切な役割を果たしています。
国内のNPO機関などで実務を経験しながら、
日本がどのような問題に、どう主体的に関わっているのか、自ら体感し、
「自分には何ができるのか」を考えるきっかけを提供しています。

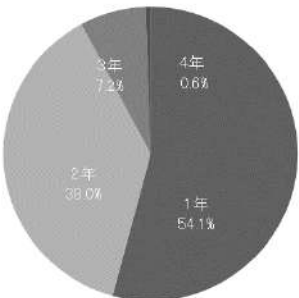
参加学生データ

第50期参加学生数:808名

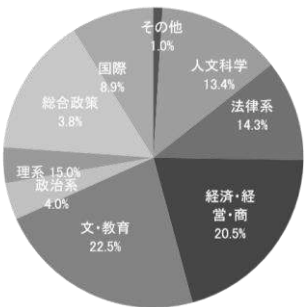
参加学生数推移



学年別参加割合



学部別参加割合



【累計】参加学生数上位大学 *()内の数字は、過去累計のインターンシップ参加者数

総合

立命館(1770) / 関西学院(1684) / 同志社(1617) / 東北学院(1253) / 慶應義塾(1189)
明治(1174) / 熊本県立 (1048) / 南山(1034) / 中央(1026) / 早稲田(856) / 九州(843)
北海学園 (839) / 筑波 (823) / 関西 (778) / 三重 (738) / 山形 (692) / 大阪 (683)

エリア別

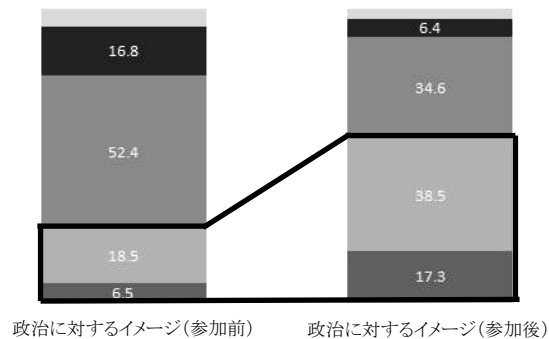
【北海道】 北海学園(847) / 北海道(398) / 小樽商科(175) / 北星学園(140)
【東北】 東北学院(1220) / 山形 (677) / 福島(674) / 東北(360) / 東北福祉 (319)
【関東】 慶應義塾(1131) / 明治(1097) / 中央(970) / 早稲田(812) / 筑波 (760)
【北陸】 新潟(38) / 金沢 (19)
【東海】 南山(1008) / 三重(732) / 中京 (405) / 名古屋(360)
【関西】 立命館(1671) / 関西学院 (1608) / 同志社 (1560) / 関西 (776)
【中国四国】 広島 (606) / 岡山 (425) / 広島修道 (278) / 香川 (240)
【九州】 熊本県立 (1025) / 九州 (813) / 西南学院 (549) / 長崎 (453)

※総合の参加者数には複数支部でのインターン参加者も含むため、支部別の参加者数との間にずれがある場合がございます。

学生意識調査

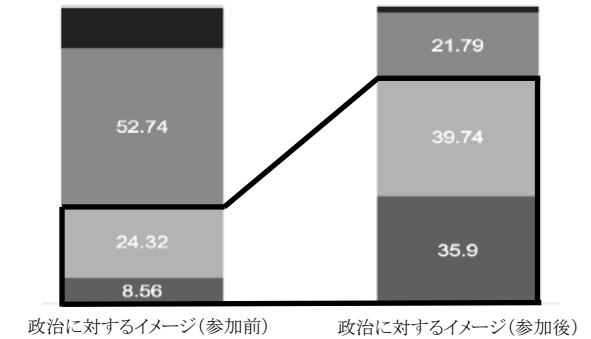
政治に対するイメージ

インターンシップ参加前は、
「良い」「どちらかといえば良い」の比率が25.0%だが、
インターンシップ参加後は55.8%に。
※有効回答人数:604



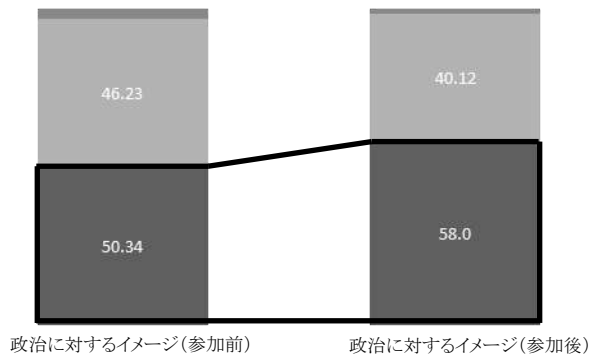
議員に対するイメージ

インターンシップ参加前は、
「良い」「どちらかといえば良い」の比率が33.8%だが、
インターンシップ参加後には71.64%に。
※有効回答人数:604



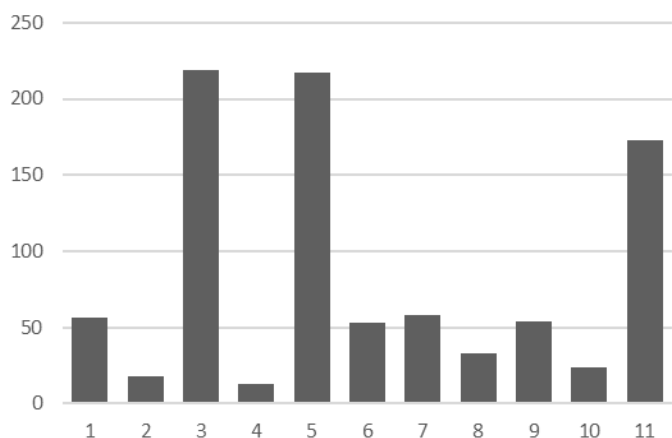
選挙に対する意識

インターンシップ参加前は
「必ず選挙に行く」の比率が50.34%だが、
インターンシップ後は58.00%に。
インターンシップを通じて学生の選挙に
対する意識が向上している。
※有効回答人数:773



希望進路

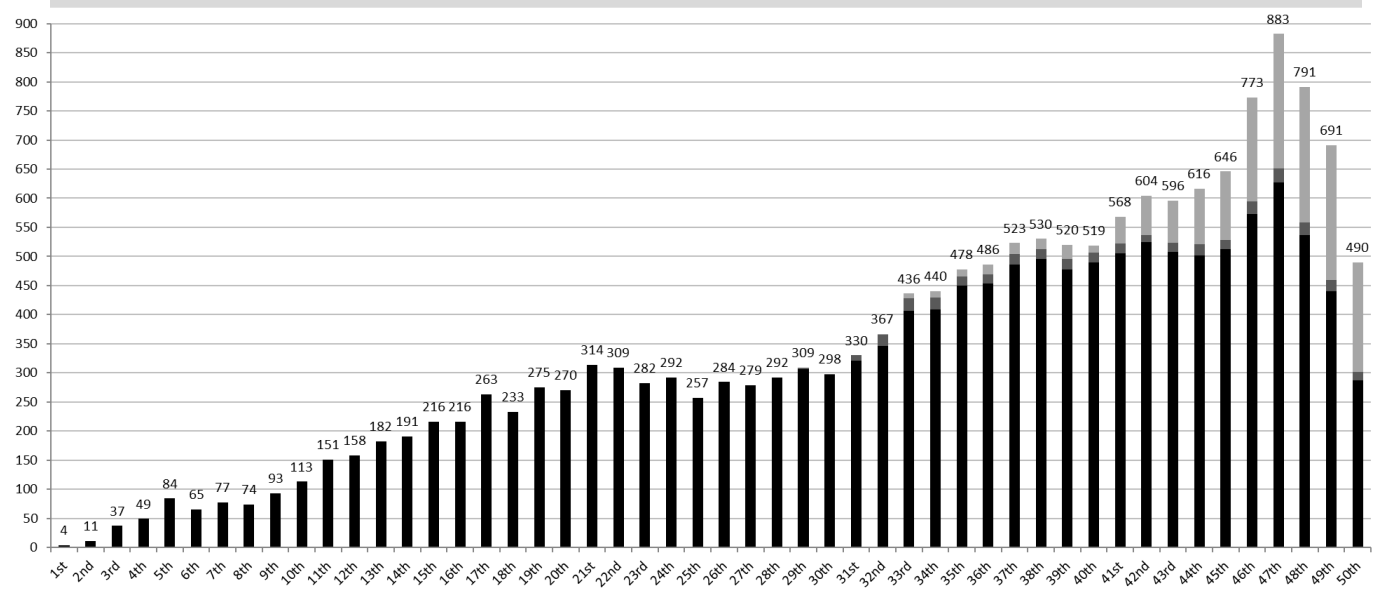
- 1.NPO・NGO
 - 2.議員
 - 3.公務員
 - 4.法曹関係（弁護士・検察官・裁判官）
 - 5.民間企業勤務
 - 6.資格業（医師・税理士など）
 - 7.進学・研究者
 - 8.起業
 - 9.国際機関（国連など）勤務
 - 10.その他
 - 11.まだ考えられていない
- ※有効回答人数：918（複数回答）



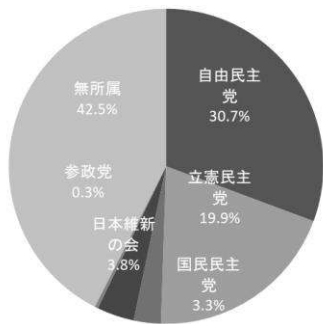
受入議員・機関・団体データ

第50期受入議員・機関・団体数:491クライアント

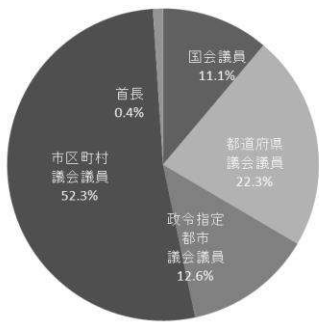
受入議員・機関・団体数推移



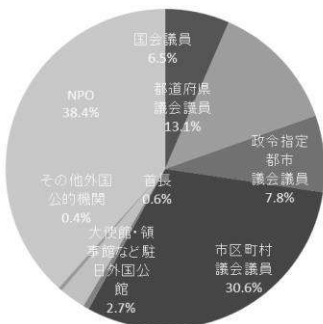
政党別受入議員数(当期)



区分別受入議員数(当期)



区分別全体受入数(当期)



首長インターンシッププログラム一覧

ドットジェイピーでは、議員インターンシッププログラムの運営で蓄積したノウハウを生かし、議員事務所だけでなく、知事や市長、地方自治体などの業務を理解するための体験プログラムを提供しております。

過去実施首長・自治体一覧(敬称略)

梶原拓(岐阜県知事) / 橋本大二郎(高知県知事) / 石田芳弘(愛知県犬山市長) / 佐護彰(愛知県日進市長) / 門川大作(京都府京都市長)
倉田薫(大阪府池田市市長) / 田中誠太(大阪府八尾市長) 北口寛人(兵庫県明石市長) / 白井文(兵庫県尼崎市長)
薮本吉秀(兵庫県三木市長) / 河内山哲朗(山口県柳井市長) / 幸山政史(熊本県熊本市長) / 成澤廣修(東京都文京区長)
山田宏(東京都杉並区長) / 井崎義治(千葉県流山市長) / 中村法道(長崎県知事) / 松崎秀樹(千葉県浦安市長)
藤井浩人(岐阜県美濃加茂市長) / 小笠原春一(北海道登別市長) / 菅原章嗣(北海道喜茂別町長) / 熊谷俊人(千葉県千葉市長)
小泉一成(千葉県成田市市長) / 武廣勇平(佐賀県上峰町長) / 大石正行(北海道鶴居村長) / 徳永哲雄(北海道弟子屈町長)
照井誉之介(北海道江差町長) / 宮谷内留雄(北海道蘭越町長) / 山本進(北海道東神楽町長) / 松岡市郎(北海道東川町長)
谷一之(北海道下川町長) / 松岡隼人(熊本県人吉市長) / 秋葉就一(千葉県八千代市長) / 川上満(北海道平取町長)
神達岳志(茨城県常総市長) / 崎田恭平(宮崎県日南市長) / 南出賢一(大阪府泉大津市長) / 越田謙治郎(兵庫県川西市市長)
佐藤弥斗(神奈川県座間市長) / 石丸伸二(広島県安芸高田市長) / 大野もとひろ(埼玉県知事) / 本村賢太郎(神奈川県相模原市長)
樋口高顕(東京都千代田区長) / 永山由高(鹿児島県日置市長) / 上野俊市(鹿児島県さつま町)

※()内は受入当時のものです。

50期全国受入議員・機関・団体一覧 ①

※()内は受入当時のものです

北海道	都道府県議会	角谷隆司(自由民主党)/佐々木大介(自由民主党)/淵上綾子(立憲民主党)/松山丈史(立憲民主党)
	政令指定都市議会	阿部ひであき(自由民主党)/五十嵐徳美(自由民主党)/川田匡桐(自由民主党)/高橋克朋(自由民主党) 山口和佐(無所属)
	市区町村議会	猪股美香(無所属)/内山祥弘(立憲民主党)/面野大輔(立憲民主党)/柏野大介(無所属) 木嶋悦寛(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会 特定非営利活動法人 さっぽろ自由学校「遊」/ 特定非営利活動法人 おーるまいてい 特定非営利活動法人 教育支援協会北海道/ 特定非営利活動法人 国際教育推進協議会 札幌オフィス 特定非営利活動法人 北海道NPOサポートセンター
宮城	国 会	岡本あき子(立憲民主党)/桜井充(自由民主党)
	都道府県議会	太田稔郎(立憲民主党)/菅間進(無所属)/佐々木賢司(自由民主党)/庄田圭佑(自由民主党)
	政令指定都市議会	猪又隆広(自由民主党)/郷古正太郎(立憲民主党)/佐藤わか子(立憲民主党) 内藤良介(自由民主党)/村岡貴子(自由民主党)
	市区町村議会	阿部眞喜(無所属)/遠藤紀子(無所属)/小玉仁志(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人 冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク 特定非営利活動法人 みやぎ・せんだい子どもの丘/ 特定非営利活動法人 メディアージ 特定非営利活動法人 まちづくりスポット仙台
山形	政令指定都市議会	伊藤健太郎(自由民主党)/内山航(無所属)/高橋聡子(立憲民主党)/中山均(無所属)
	市区町村議会	秋葉晶子(自由民主党)/井上由紀雄(無所属)/梅津善之(無所属)/遠藤明子(無所属) 遠藤真由美(無所属)/影澤政夫(無所属)/渋江朋博(無所属)/鳥海隆太(無所属) 成澤和音(無所属)/長谷川幸司(自由民主党)/古山悠生(無所属)/三宅和広(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人 ひなぎくアルファー 十日町事務所/ 特定非営利活動法人 未知 特定非営利活動法人 西沼田サポーターズ・ネットワーク/ 特定非営利活動法人 赤とんぼ 特定非営利活動法人 パートナースHIPオフィス/ 特定非営利活動法人 南陽市観光協会 特定非営利活動法人 学童保育所しゃぼん玉クラブ/ 特定非営利活動法人 から・ころセンター 特定非営利活動法人 あゆみやまびこ共に育つ会 / 特定非営利活動法人 音楽ネットワーク
福島	国 会	亀岡偉民(自由民主党)
	都道府県議会	坂本竜太郎(自由民主党)/佐藤徹哉(自由民主党)/佐藤義憲(自由民主党)/先崎温容(自由民主党)
	市区町村議会	安藤聡(無所属)/大木絵理(無所属)/大城宏之(自由民主党)/大竹惣(無所属) 岡崎義典(無所属)/岡本貴士(無所属)/川又康彦(無所属)/小松良行(自由民主党) 坂本和広(無所属)/佐藤宗太(無所属)/宍戸一照(無所属)/鈴木演(自由民主党) 根本雅昭(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人 ビーンズふくしま/ 特定非営利活動法人 青空保育たけの子 特定非営利活動法人 チームふくしま/ 特定非営利活動法人 寺子屋方丈舎 特定非営利活動法人 りょうぜん里山がつこう/ 特定非営利活動法人 広野みかんクラブ 特定非営利活動法人 ハートフルハート未来を育む会/ 特定非営利活動法人 わくわく
茨城	国 会	青山大人(立憲民主党)/浅野哲(国民民主党)/藤岡隆雄(立憲民主党)
	都道府県議会	玉造順一(立憲民主党)
	市区町村議会	浅野英公子(無所属)/内桶克之(無所属)/大森勝夫(自由民主党)/香取憲一(無所属) 島岡宏明(無所属)/鈴木道生(無所属)/須田浩和(無所属)/戸田見良(無所属) 根岸裕美子(無所属)/萩谷慎一(立憲民主党)/藤森結花(自由民主党)/綿引健(無所属) 矢口勝雄(無所属)
	NPO団体	認定特定非営利活動法人 水戸子どもの劇場/認定特定非営利活動法人 宍塚の自然と歴史の会 特定非営利活動法人 雇用人材協会/特定非営利活動法人 たまり場ぼぼ/ 特定非営利活動法人 インパクト 特定非営利活動法人 フードバンク茨城 水戸支部/ 特定非営利活動法人 NEWSつくば 特定非営利活動法人 グラウンドワーク笠間/ 特定非営利活動法人 コミュニティNETひたち 特定非営利活動法人 未来ネットワークひたちなか・ま/ 特定非営利活動法人 居場所サポートクラブロベ 特定非営利活動法人 動物愛護を考える茨城県民ネットワーク/ 特定非営利活動法人 リヴォルヴ学校教育研究所

50期全国受入議員・機関・団体一覧 ②

※()内は受入当時のものです

東京	首 長	樋口高頭(無所属)
	国 会	逢坂誠二(立憲民主党)/大島敦(立憲民主党)/源馬謙太郎(立憲民主党)/萩生田光一(自由民主党) 松山政司(自由民主党)/山岸一生(立憲民主党)/山田美樹(自由民主党)
	都道府県議会	清水やすこ(無所属)/菅原直志(無所属)/宮瀬英治(立憲民主党)/本橋弘隆(無所属) 山口拓(立憲民主党)
	政令指定都市議会	井原隆(自由民主党)
	市区町村議会	青木英太(無所属)/青柳雅之(立憲民主党)/赤江なつ(立憲民主党)/石坂わたる(無所属) 上田由紀子(無所属)/榎本あゆみ(国民民主党)/海老澤敬子(自由民主党)/岡田勇一郎(自由民主党) 小幡健太郎(立憲民主党)/小野なりこ(無所属)/金井悦子(自由民主党)/金井ひろし(立憲民主党) 木目田英男(自由民主党)/小林浩司(自由民主党)/酒井なつみ(立憲民主党)/桜井純子(立憲民主党) 鈴木綾子(立憲民主党)/鈴木建邦(無所属)/菌部誠弥(無所属)/高橋まきこ(立憲民主党) 滝沢泰子(立憲民主党)/富田けんじ(立憲民主党)/中島晃一郎(無所属)/中村公太朗(立憲民主党) 南雲由子(無所属)/野頭健(無所属)/拝野健(自由民主党)/八田一彦(無所属) 松平雄一郎(自由民主党)/松村智成(自由民主党)
	NPO団体 各国公的機関	スロヴェニア共和国大使館/ 在日イタリア商工会議所/ スペイン大使館/メキシコ合衆国大使館 在日ポーランド商工会議所/ 日本アゼルバイジャン商工会議所/ギニア共和国大使館 ベルー共和国大使館/在東京ベルー共和国総領事館 ウガンダ政府観光局日本事務所/ エルサルバドル共和国日本国大使館 コロンビア大使館通商部/ ベネズエラ・ボリバル共和国大使館/ 欧州ビジネス協会 認定特定非営利活動法人 フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN 認定特定非営利活動法人 JUON NETWORK/ 認定特定非営利活動法人 エンパワメントかながわ 認定特定非営利活動法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 認定特定非営利活動法人 グッドネーバーズ・ジャパン 特定非営利活動法人 たねの会/特定非営利活動法人 A SEED JAPAN 特定非営利活動法人 環境持続社会研究センター JACES/特定非営利活動法人 こどもの木 特定非営利活動法人 JFCネットワーク/特定非営利活動法人 樹木・環境ネットワーク協会 特定非営利活動法人 LOOB JAPAN/ 特定非営利活動法人 東京コミュニティスクール 特定非営利活動法人 遊び・文化NPO 小金井こらぼ/ 特定非営利活動法人 あっちこっち 特定非営利活動法人 ADRA Japan / 特定非営利活動法人 ブリッジエーシアジャパン 特定非営利活動法人 男女共同参画おおた/特定非営利活動法人 ICA文化事業協会 特定非営利活動法人 CMC/ 特定非営利活動法人 ままとんきっず/ 特定非営利活動法人 あすみ会 公益財団法人 オイスカ/ 公益財団法人 CIESF/一般社団法人 SDGs市民社会ネットワーク
神奈川	首 長	本村賢太郎(無所属)
	国 会	青柳陽一郎(立憲民主党)/金村龍那(日本維新の会)/鈴木敦(国民民主党) 中谷一馬(立憲民主党)/早稲田夕季(立憲民主党)
	都道府県議会	菅原あきひと(立憲民主党)/須田こうへい(立憲民主党)/榊晴太郎(自由民主党)
	政令指定都市議会	青木功雄(自由民主党)/草間剛(自由民主党)/黒川勝(自由民主党) ふじい芳明(立憲民主党)/山下正人(自由民主党)
	市区町村議会	小林伸行(無所属)
愛知	国 会	熊田裕通(自由民主党)
	都道府県議会	黒田太郎(国民民主党)/田中泰彦(自由民主党)/富田昭雄(国民民主党)/福田喜夫(無所属)
	市区町村議会	藤田裕喜(無所属)/森耕治(無所属)
	NPO団体	認定特定非営利活動法人 レスキューストックヤード/ 特定非営利活動法人 こどもNPO
三重	市区町村議会	岩脇圭一(立憲民主党)
	NPO団体	特定非営利活動法人 ネットワークくわっこ / 特定非営利活動法人 子どもアイデア楽工

50期全国受入議員・機関・団体一覧 ③

※()内は受入当時のものです

関西	国会	泉健太(立憲民主党)/櫻井周(立憲民主党)/住吉寛紀(日本維新の会)/藤田文武(日本維新の会) 前原誠司(国民民主党)/森山浩行(立憲民主党)
	都道府県議会	岡本和徳(無所属)/風早寿郎(自由民主党)/門隆志(日本維新の会)/木戸さだかず(立憲民主党) 栗山雅史(立憲民主党)/駒井千代(無所属)/齊藤真大(日本維新の会)/田中健志(立憲民主党) 中田慎也(自由民主党)/日片信悟(自由民主党)
	政令指定都市議会	あわはら富夫(無所属)/宇佐美賢一(日本維新の会)/江村理紗(無所属)/加地幸夫(立憲民主党) 神谷修平(無所属)/小林るみ子(無所属)/洲上猛志(無所属)/森かれん(無所属)
	市区町村議会	青山暁(日本維新の会)/岡市栄次郎(無所属)/川上朝栄(自由民主党)/神原宏一郎(無所属) 岸田光広(自由民主党)/駒田かすみ(無所属)/齊藤真治(日本維新の会)/島津明香(自由民主党) 千住啓介(自由民主党)/たかのしん(無所属)/田中正剛(自由民主党)/反甫旭(自由民主党) 寺井大地(日本維新の会)/中田哲(無所属)/中村亮太(無所属)/花田康次郎(無所属) 馬場慶次郎(無所属)/道端俊彦(自由民主党)/山口克浩(日本維新の会)
	NPO団体	認定特定非営利活動法人 FaSoLabo京都/ 認定特定非営利活動法人 おてらおやつクラブ 認定特定非営利活動法人 くさつ未来プロジェクト/ 認定特定非営利活動法人 トッギャザー 認定特定非営利活動法人 緑の地球ネットワーク/特定非営利活動法人 市民活動サークルえん 特定非営利活動法人 明日の京都 文化遺産プラットフォーム/ 特定非営利活動法人 ゆに 特定非営利活動法人 音の風/ 特定非営利活動法人 木野環境/ 特定非営利活動法人 ひととひと 特定非営利活動法人 グラミーゴ奈良・三笠/ 特定非営利活動法人 アンダンテ農園 特定非営利活動法人 green grass/ 特定非営利活動法人 こころのはな/ 特定非営利活動法人 うだ夢創の里 特定非営利活動法人 キャリア・サポートみらい/特定非営利活動法人 地域環境デザイン研究所ecotone 特定非営利活動法人 Deep People/ 特定非営利活動法人 Co.to.hana/ 特定非営利活動法人 びよびよ会 特定非営利活動法人 レイバス 大阪南校/ 特定非営利活動法人 レイバス 柏原校/特定非営利活動法人 学遊 特定非営利活動法人 おひさまひろば/特定非営利活動法人 いごっそう/特定非営利活動法人 夢コネクト 特定非営利活動法人 京都発・竹・流域環境ネット/ 特定非営利活動法人 コンシューマーズ京都(京都消団連) 特定非営利活動法人 滋賀県社会就労事業振興センター/特定非営利活動法人 COM総合福祉研究所 特定非営利活動法人 アフリカ児童教育基金の会ACEF/ 特定非営利活動法人 ひらかた環境ネットワーク会議 特定非営利活動法人 ムーブメント/ 特定非営利活動法人 からだところのスクール 特定非営利活動法人 電線のない街づくり支援ネットワーク 大阪本部/特定非営利活動法人 アバンセ 特定非営利活動法人 チャイルドドクター・ジャパン/特定非営利活動法人 ジョイフル 特定非営利活動法人 北摂こども文化協会/ 特定非営利活動法人 グッドネーバーズ・ジャパン 大阪事務所 特定非営利活動法人 キャンピズ/ 特定非営利活動法人 きんきうえぶ/ 特定非営利活動法人 シミズシーズ 特定非営利活動法人 シンフォニー/ 特定非営利活動法人 やんちゃんこ 一般社団法人 フリンジシアターアソシエーション/ ヴィラ九条山 公益財団法人 京都市環境保全活動推進協会/ 公益財団法人 大阪国際交流センター
広島	国会	新谷正義(自由民主党)
	都道府県議会	恵飛須圭二(自由民主党)/柿本忠則(無所属)/福知基弘(立憲民主党)/村上栄二(無所属)
	政令指定都市議会	太田憲二(無所属)/山路英男(自由民主党)
	市区町村議会	岩崎和仁(無所属)/牛尾容子(無所属)/大田祐介(無所属)/喜田紘平(無所属)/木村素子(無所属) 栗栖俊泰(無所属)/鈴木英士(無所属)/田邊介三(無所属)/村上真以(自由民主党)
	NPO団体	特定非営利活動法人 これからの学びネットワーク/ 特定非営利活動法人 湯来観光地域づくり公社 特定非営利活動法人 呉こどもNPOセンターYYY/ 特定非営利活動法人 ひろしま自然学校 特定非営利活動法人 まちづくりコミュニティデザイン研究所/特定非営利活動法人 きずな 特定非営利活動法人 尾道空き家再生プロジェクト/特定非営利活動法人 ゆうゆうProject 特定非営利活動法人 地域福祉活動支援協会人間大好き/特定非営利活動法人 ひとまちスタジオ
香川	国会	三宅伸吾(自由民主党)
	都道府県議会	菅森実(立憲民主党)/仁木啓人(無所属)/山本悟史(国民民主党)
	市区町村議会	池田美恵(無所属) / 三好東曜(無所属)/山本智紀(無所属)
	NPO団体	認定特定非営利活動法人 わははネット 特定非営利活動法人 アーキペラゴ/ 特定非営利活動法人 ゆうゆうクラブ 公益財団法人 オイスカ 四国支部

50期全国受入議員・機関・団体一覧 ④

※()内は受入当時のものです

福岡	国 会	鬼木誠(自由民主党)/城井崇(立憲民主党)/吉田忠智(立憲民主党)
	都道府県議会	酒本哲也(立憲民主党)/原中誠志(立憲民主党)/松尾嘉三(自由民主党)/守谷正人(国民民主党) 山本耕一(立憲民主党)/吉村悠(自由民主党)
	政令指定都市議会	井上真吾(無所属)/井上麻衣(立憲民主党)/大久保無我(無所属)/奥村直樹(無所属) 成瀬穂美(立憲民主党)/宮崎吉輝(自由民主党)
	市区町村議会	上野崇之(立憲民主党)/宇都宮陽子(立憲民主党)/廣瀬猛(無所属)/諸富八千代(無所属)
	NPO団体	認定特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン/ 認定特定非営利活動法人 アカツキ 特定非営利活動法人 フードバンク福岡/ 特定非営利活動法人 いるか 特定非営利活動法人 子どもNPOセンター福岡/ 特定非営利活動法人 福岡県レクリエーション協会 特定非営利活動法人 Poco a bocca/特定非営利活動法人 国際教育支援機構スマイリーフラワーズ 特定非営利活動法人 みんなの学び館/特定非営利活動法人 コバルトブルー下関ライフセービングクラブ 特定非営利活動法人 九州海外協力協会/ 特定非営利活動法人 NGO福岡ネットワーク 特定非営利活動法人 国際教育推進協議会/ 特定非営利活動法人 フードバンク北九州ライフアゲイン 特定非営利活動法人 あそびとまなび研究所/ 特定非営利活動法人 サンシャインフォーラム福岡 特定非営利活動法人 門司赤煉瓦倶楽部/ 特定非営利活動法人 シュタイナー&モンテッソーリー・アカデミー 公益社団法人 スペシャルオリンピックス日本・福岡
長崎	都道府県議会	赤木幸仁(無所属)/浅田眞澄美(自由民主党)/北村貴寿(自由民主党)/小林かつとし(自由民主党) 坂口慎一(自由民主党)
	市区町村議会	青山昭広(無所属)/浅田五郎(無所属)/柿田正(無所属)/竹田雄亮(自由民主党)/田山藤丸(自由民主党) 土屋美紀(無所属)/中崎秀紀(無所属)/松本正則(自由民主党)/村崎浩史(自由民主党)
	NPO団体	特定非営利活動法人 環境カウンセリング協会長崎/ 特定非営利活動法人 心澄 特定非営利活動法人 元気っ子クラブ ファイト
熊本	都道府県議会	岩田智子(無所属)/内野幸喜(自由民主党)/坂梨剛昭(自由民主党)/堤泰之(無所属) 南部隼平(自由民主党)/溝口幸治(自由民主党)
	政令指定都市議会	上田芳裕(立憲民主党)/光永邦保(自由民主党)
	市区町村議会	井藤はづき(無所属)/今中真之助(参政党)/大村裕一郎(無所属)/三宮美香(無所属) 永田壮弘(自由民主党)/橋本貴喜(自由民主党)/松見真一(無所属)/三角隆史(無所属) 村上真由子(無所属)/山本敬晃(無所属)/吉田修(無所属)/渡辺裕之(日本維新の会)
	NPO団体	特定非営利活動法人 子どもセンター/ 特定非営利活動法人 アイ・ネットワークくまもと 特定非営利活動法人 ハピネス/ 特定非営利活動法人 熊本福祉会/ 特定非営利活動法人 RyuSun 特定非営利活動法人 スポレク・エイト / 特定非営利活動法人 熊本マンガミュージアムプロジェクト 特定非営利活動法人 でんでん虫の会/ 特定非営利活動法人 桜木ふれあいスポーツクラブ 特定非営利活動法人 みらいけあ/特定非営利活動法人 NPOこどもサポート・みんなのおうち 特定非営利活動法人 くまもと未来ネット/ 特定非営利活動法人 もやいの丘 特定非営利活動法人 あやの里/ 特定非営利活動法人 NCK /特定非営利活動法人 えん 特定非営利活動法人 らぶらんど / 特定非営利活動法人 せいしとらんし熊本 特定非営利活動法人 子育て支援ワーカーズベベベべらん
宮崎	国 会	渡辺創(立憲民主党)
	都道府県議会	川添博(自由民主党)/日高陽一(自由民主党)
	市区町村議会	鈴木一成(自由民主党)/外山順一(無所属)/中村鉄兵(自由民主党)/山口俊樹(自由民主党)
鹿児島	首 長	上野俊市(無所属)
	国 会	宮路拓馬(自由民主党)
	都道府県議会	白石誠(自由民主党)/藤崎剛(自由民主党)/米丸まき子(自由民主党)
	市区町村議会	犬伏浩幸(無所属)/岩下陽太郎(無所属)/坂口健太(自由民主党)/塩入英明(無所属) 新原春二(無所属)/野村和人(無所属)/日置友幸(無所属)/古田昌也(無所属) 前島広紀(無所属)/松下太葵(無所属)
	NPO団体	特定非営利活動法人 チャトン/特定非営利活動法人 ハッピー/特定非営利活動法人 にじの橋 特定非営利活動法人 フードバンクかごしま/特定非営利活動法人 かごしま子どもと自然研究所 特定非営利活動法人 未来への翼/ 特定非営利活動法人 子育て支援にじ/特定非営利活動法人 あまみ紬人 特定非営利活動法人 桜島ミュージアム/特定非営利活動法人 マンガプロジェクト鹿児島 特定非営利活動法人 きらきらの森/ 特定非営利活動法人 ナチュラブファミリー 特定非営利活動法人 あんじゅりあん/ 特定非営利活動法人 orange tabby

協力大学一覧

議員インターンシップの普及促進のために、各地の大学にご協力をいただいております。

協力形態説明

- ・単位認定 認定に手続きについては、直接大学にお問い合わせください。
- ・告知 ビラ配布許可、ポスター掲示許可、授業での告知協力など。

【単位認定】

●北海道
北海学園大学
法学部
札幌学院大学
法学部
小樽商科大学

●関東
國學院大学
法学部 法律学科政治専攻
明治学院大学
法学部政治学科

●関西
関西学院大学
法学部

●中国
広島大学
法学部

【告知協力】

●北海道
北海学園大学
法学部
小樽商科大学
北海学園大学
北海道大学

●東北
山形大学

●関西
関西学院大学
法学部

●中国
岡山理科大学
広島大学
法学部
福山市立大学
都市経営学部



未来事業

『日本が終わってるなんて誰が決めた』

未来事業部は「未来自治体」と「未来国会」を運営しております。

「未来国会」は『もし自分が総理大臣だったら国家予算をどのように作るか』、

「未来自治体」は『もし自分が首長だったら自治体予算をどのように作るか』というテーマで、

時代を担う若者(主に大学生)が未来の国家や街のビジョンを掲げ、

それを政策・予算にまで落とし込み、

「若者らしい斬新かつ、現実性を備えた夢」をコンテスト形式で競い合う提案型プログラムです。

国家予算をあなたがつくる。

未来国会

若者による国家デザインコンテスト

地域の未来をあなたがつくる。

未来自治体

若者による自治体デザインコンテスト

jp
japan produce.

未来自治体全国大会2023

未来自治体
全国大会2023

■開催概要

- ・催事名 : 未来自治体全国大会2023
- ・開催期間 : 2023年1月～3月
- ・エントリー : 30歳以下の若者900名/400チーム
- ・全国決勝大会はSYDホールにて対面開催と同時にオンラインにて生配信(YouTube Liveにて配信)
- ・観覧/視聴者 : 観覧者約150名 決勝大会Live配信中約200名、アーカイブ動画約900名視聴
- ・全国決勝大会ゲスト(敬称略)



藤原 崇氏
自由民主党
衆議院議員
青年局長長代理



逢坂 誠二氏
立憲民主党
衆議院議員
代表代行



与良 正男氏
毎日新聞
専門編集委員



田幸 大輔氏
政策分析ネットワーク事務局長/
政策メディア編集長

■後援



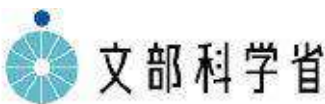
内閣府



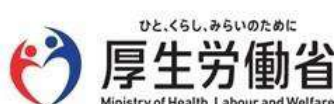
総務省



法務省



文部科学省



厚生労働省



農林水産省



経済産業省



環境省

未来自治体全国大会2023

未来自治体
全国大会2023

■未来自治体全国大会2023 優勝【宮崎大会選出 チーム child × dot】 プラン2-4

エリア	チーム名
宮崎エリア	child × dot
問題3 1. 30年後の理想の街を実現させるために、解決すべき問題と問題が発生する原因、根拠を記入して、問題を深掘りしましょう。 日本には他国に比べて自己肯定感の低い大人が多い。 2. 問題が発生している原因、およびその根拠を洗い出しましょう。 例)○○という問題には、××という原因がある。 ・誰がどのように、なぜ困っているかを書きましょう ・同時に、調査結果などのデータを根拠として提示しましょう ※「記入欄からはみ出さない限りロジックツリー図等を挿入可」 テキストボックス 【調査方法】 インターネットの記事・内閣府公開アンケート調査 【調査対象】 ・20～40代の男女約500名 ・日本を含めた7か国の13～29歳の若者 【調査項目】 ・自分には存在する価値があると強く感じる ・自分のことが好きかどうか ・自分の人生は幸福だと感じる ・自己肯定感 ・意欲 ・心の状態 ・自らの将来に対するイメージ 【解決すべき理由】 ・日本だけの調査で見ると全体的に自己肯定感の各項目ではほとんどマイナスな回答が半数以上を占めている。また、世界と比べてみても「自分自身に満足している」「自分には長所がある」「将来への希望」などの項目において圧倒的に日本は低い数字が出ている。これらのことから日本人は世界的に見ても自己肯定感が低いことがわかる。自己肯定感が低いと、自分への信頼感が薄まったり、失敗やリスクを恐れて果敢に挑戦することができない。小学生の頃から自己肯定感をあげていく教育を行い、様々なことに進んで挑戦して行ける子どもを育てることで、大人になってあらゆる分野に挑戦できる人材になるのではないかと考える。 【原因】 ・成功体験が少ない ・否定された経験 ・人前で行動することの少なさ	

エリア	チーム名
宮崎エリア	child × dot
打ち手1 認知拡大(啓蒙活動)・支援活動・根治予防の3つの視点で、問題①(P4)の解決のために、何をすべきか書いてみましょう。 問題①: 中間レベルに合わせられた、やらされてる感のある宿題。 従来の宿題に対して、嫌悪感を抱いている子どもが多い。  認知拡大(啓蒙活動): 問題が世の中で認知され、より軽減されるように働きかける取り組み 支援活動: 起きている問題に対して対処するため、企業や個人が行う事業や取り組み 根治予防: 問題が発生する原因を根本的に取り除く取り組み。また問題が起きないようにあらかじめ予防をするような取り組み。 認知拡大 課題終わりに、課題に対する評価を行う 支援活動 勉強アプリの開発・カードの開発 根治予防 RainBonの中で問題のレベル分けを行う(生徒が自由に選択可能)	

エリア	チーム名
宮崎エリア	child × dot
打ち手2 認知拡大(啓蒙活動)・支援活動・根治予防の3つの視点で、問題②(P5)の解決のために、何をすべきか書いてみましょう。 問題②: 従来の小学校の概念を壊す  認知拡大(啓蒙活動): 問題が世の中で認知され、より軽減されるように働きかける取り組み 支援活動: 起きている問題に対して対処するため、企業や個人が行う事業や取り組み 根治予防: 問題が発生する原因を根本的に取り除く取り組み。また問題が起きないようにあらかじめ予防をするような取り組み。 認知拡大 用学校のPR活動を行う 支援活動 従来とは違ったスケジュールの組み方の提案・自分の能力に合わせたコースの選択 根治予防 手引きを作る(一年間に確実に達成するノルマを書いたもの等)・カードで管理(先生が出席管理できる・ポイントが貯まる)	

エリア	チーム名
宮崎エリア	child × dot
打ち手3 認知拡大(啓蒙活動)・支援活動・根治予防の3つの視点で、問題③(P6)の解決のために、何をすべきか書いてみましょう。 問題③: 自己肯定感の低い大人が多い。  認知拡大(啓蒙活動): 問題が世の中で認知され、より軽減されるように働きかける取り組み 支援活動: 起きている問題に対して対処するため、企業や個人が行う事業や取り組み 根治予防: 問題が発生する原因を根本的に取り除く取り組み。また問題が起きないようにあらかじめ予防をするような取り組み。 認知拡大 入学前に学校の説明を行う 支援活動 空き教室に交流ブースの設置・グループ活動 根治予防 先生からのサポート	

未来自治体全国大会2023

未来自治体 全国大会2023

■未来自治体全国大会2023 優勝【宮崎大会選出 チーム child × dot】 プラン3-4

エリア	チーム名			
宮崎エリア	child × dot			
ロードマップ ロードマップは問題解決までの道筋を示したものです。 P7～P9で洗い出した問題への解決策を、実施すべき順番、 実施できるタイミングに沿って時系列に並べてみましょう。 また各行の半を案出して、10・20・30年後(このような社会を目指したいか)書きましょう。				
	問題1	問題2	問題3	各時期の目標
現在	従来の課題に対して 少なからず課題感を 抱いている人がいる。	凝り固まった小学校 の概念	他国と比べ、日本に は自己肯定感の低 い大人が多い	雨学校創設事業 への資金、支援を 得る 営業活動を行う
10年後	RainBon®の開発 ・カードの開発	新確なスケジュール 管理システムにつ いての手引き・出 発管理システムの設置	学校内のリフォーム	雨学校の運営開 始と学校運営に必 要な一定人数の 入学者の募集 ・ヒミツキチ内で交 流可能な企業など との提携
20年後	自主的に学習に取り 組める生徒の割合 が、全国平均より 20%高い	学習上の悩み7つの 項目が、全国平均と 比較し、各10%低下 している	自己を肯定的に捉え ている者の割合が日 本全体の割合と比較 した場合、20%高い と予想	雨学校の生徒数・ 規模の拡大。 この学校を卒業し た者がその後の キャリアの中で社 会の重鎮となる。 場を明るくする人 材。
30年後	自主的に学習に取り 組める生徒の割合 100%達成	雨学校型スケジュー ル管理システムの県 内での習熟と拡大	交通ブースのさらな る多様化と活用	雨学校の県内拡 大。 伸び伸びとした子 どもたちが育ち、 自己肯定感の向 上がデータとして 明らかになる。雨 学校出身者が日 本を担う。
★見たい未来の実現★				

エリア	チーム名
宮崎エリア	child × dot
重点政策1 RainBon®カード 考えた政策の「目的」「対象」「主体」「期間」「政策内容」を書きましょう。 また政策によって起こり得る「懸念点」、およびその「懸念点への対策」まで考えてみましょう。	
一「目的」 「宿題」と聞くと嫌なイメージがある。やらされている宿題や、意味を理解していない宿題には意味が無いのではないだろうか。生徒一人一人の能力に合わせて、宿題を提示することで自分の能力にあった宿題や様々なレベルを自分で選択でき、自分で自分を伸ばすことにつながるだろう。また、自分の興味あるものが宿題であれば生徒は自ら進んで取り組むのではないだろうか。 カードによって学習習慣をおこなうことで、生徒一人一人の学習状況、学力などを管理することが出来る。新たな政策の材料を簡単に把握できることになる。さらに、視覚的にマイナスイメージを排除することで生徒の勉強に対するポジティブな感情を醸成しようと考えている。 「対象」：期生 「主体」：先生・期生 「期間」：入学時から卒業まで 「政策内容」 「RainBon」という独自の名前の課題政策 課題は週に1回提示し、翌週提出させるようなシステム(提出までの期間に幅を設ける) 自己表現につながるような課題の提示。自分の興味あることへの追究、勉強アプリにより、問題の難易度を自由に選択可能(自分のレベルにあった課題を解くことが出来る)。○×の仕方を欧米化した複層的にマイナスイメージを排除するカードによって生徒の学習状況を管理。また、ポイントを押さえるシステムにより勉強のやる気向上をはかるとともに、後々ポイント交換ができるシステムの構築 「懸念点」：学力が低い子がポイントがあまり貯まらず向上心が低下するのでは？ 「改善策」：テストの結果でポイントを付与するのではなく、課題を +0した時に追加で付与するなど、過程を評価する形式にする。	
社会的インパクト(政策の効果) 政策を実施することによる効果、社会的インパクトを書きましょう。 今から10年後の政策実施からどのように社会が変わっていくのか(変革仮説)書きましょう。 例)政策によって、誰の生活がどのように変わる この政策がうまくいくと、生徒は自分にあったレベルの問題を解くことが当たり前になるため、従来の宿題よりも宿題をやさしく感じるようになる。自分の好きな課題がでるため、宿題に対する嫌悪感が少なくなるのではないだろうか。自分の成長を自分で実感できることもつながり、自己表現力が身につくため、勉強や挑戦することが好きな人材、自己表現の上手い人間の育成が可能になると考える。また、マイナスイメージをやめ、間違いに対してフィードバックをすることで積極的に勉強に対する意識がそがれることが減り、不正解であったとしても間違えることを恐れない人間になると考えられる。 期生を卒業した大は学がことに対する意欲が強く、自己表現力が高くなっていくこと... (この文章ととも都合よくご活用ください)	

エリア	チーム名
宮崎エリア	child × dot
重点政策2 自由な勉強スケジュール 「目的」：現在の学校の授業カリキュラムとしては、クラスの平均値に焦点を当てて、授業を進めていくスタイルである。そのため、勉強についていけない子や、逆に十分な理解による退屈感を覚えている子もいるのではないかと考える。 個人個人のペースに合わせたカリキュラムの実施により、学校を個人を伸ばすための場として使うことが出来るのではないだろうか。? 「対象」：期生に入学した生徒(小学3年生から6年生) ※1・2年生は時間管理能力を身につけるための活動を実施する必要があるため、時間割の自由化は行わないこととする。 「主体」：先生、期生 「期間」：小学3年生になってから卒業までの四年間実施 「政策内容」： 各授業にAコース、Bコースを設置。AコースではBコースよりも応用を多し内容の関わり、コースを用意することで生徒の能力に応じた授業の提供が可能となる。また、コースは各教科生徒が自由に選択できるものとする。 カードによって授業の出発管理をおこなう 「懸念点」 ・小学校は義務教育であるため、小学校で教わるべき内容に沿えず、中学校に進む際に遅れをとってしまうのではないかと? 「改善策」 ・時間割の選択は自由にするが、教員による個々の時間割の確保や学年ごとに年間の達成すべき学習ノルマを達成できる時間割の組み方を提案する。 ・「失敗は成功の元」というように、失敗することでも学びがある。(ビジネスパーソン 1000人を対象としたアンケートより)そのため、各学年で達成すべき学習ノルマを達成できなかった場合、半年間一度のみ成績評価を中止、進級を可能とする。(オンライン学習時間管理を併用する等) 社会的インパクト(政策の効果) 政策を実施することによる効果、社会的インパクトを書きましょう。 今から10年後の政策実施からどのように社会が変わっていくのか(変革仮説)書きましょう。 例)政策によって、誰の生活がどのように変わる	
自分のペースに合わせた勉強環境の提示により、従来の授業形態よりも生徒一人一人に手厚い指導がおこなえるようになる。また、勉強が他の子よりも出来ない生徒もきちんと理解できるまで同じ内容をおこなえるため、わからないがあるまま進級することがなくなり、理解力が高くなることが望める。また、できる子も、自分の能力に合わせて上級の勉強ができるためより有意義な学生生活をおこなうことが出来るのではないかと。時間割を自分で作ることで計画力や、責任感が生まれると予測。結果として期生卒業時には、基礎の定着はもたらぬこと、より上のレベルに達した生徒は中学校に送り出すことが出来るのではないだろうか。また社会に出た際には、どんなふうだろうか	

エリア	チーム名
宮崎エリア	child x dot
重点政策3	
アクティブラーニングの実施	
考えた政策の「目的」「対象」「主体」「期間」「政策内容」を書きましょう。 また政策によって起こり得る「懸念点」、およびその「懸念点への対策」まで考えてみましょう。	
目的：日本の若者は諸外国と比べて、自己を肯定的にとらえている者と自分自身に誇りを持っている者の割合が低い。これは子どものうちに成功体験をえていること、教育に対しての姿勢が関係あるのではないかと考える。生徒一人一人が主体となって、様々な体験ができる場を作りグループ活動をおこなうことで、個々人のレベルを上げるだけでなく、生徒同士で高め合える環境ができるのではないかと考える。また、宮崎県の人材の良き、自然環境の良さを生かした体験学習を積極的に取り入れることでのびと生徒が学習でき、都会では味わうことのできない自然学習によるもの豊かな育成にもつながると考えている。 対象：期生に入学した生徒 主体：期生/教育委員会 期間：期生入学時から卒業まで 政策内容 「交流プールの設置」「ヒミツキチ」空いた時間に生徒が自由に使うことのできるスペースの提供、国内外の小中学校・老人ホーム・企業と提携した自由な場、アクティブラーニングを取り入れた授業の実施(グループを作り生徒を促す。少ないグループ内で役割を決め話し合い発表をおこなうことで非認知能力の向上を図る。) 「自然を生かした体験学習の実施」：山、川、海などの自然に触れる体験学習を通して教室内では学ぶことのできない五感を活用した教育の実施、地域の人のふれあいを通して他年代の人との交流を通じ目上の人との接し方を学ぶ。また、地域の人と活動をおこなうことで、学校と地域との連携をはかり学校を核とした地域ネットワークの形成) 「懸念点」 ・ ・ ・ ・ 「対策」 ・	
社会的インパクト(政策の効果)	
政策を実施することによる効果、社会的インパクトを書きましょう。 今から10年後の政策実施からどのように社会が変わっていくのか(変革仮説)書きましょう。 例)政策によって、誰の生活がどのように変わる	
体験学習の場をたくさん用意しておけることで子どもは挑戦のチャンスがたぐさ訪れる。これにより成功体験を積みだし、失敗してもまた伺いも直すことができる環境の提供ができ、子どもたちのチャレンジ精神を養えることと予測する。アクティブラーニングの実施では非認知能力の向上を図ると共に社会人基礎力の育成にもつながるだろう。また、地域の人のふれあいを通じ、自分より上の年代の人との関わり方を覚えたり、昔の遊びや話を聞く(体験を通して)、今のデジタル社会では経験できないアナログな経験が出来たりまた貴重な経験が出来ていくであろう。体験学習やグループ活動を通して、協同性を育んだり、話し合いの場数をたたく積み重ね小学校を卒業することで、中学校、高校、大学、社会人へとステップアップする中で自分の意見をしっかりと述べて、周りの人と協力して物事を進めていけるリーダーシップを発揮できる人材になれることが見込まれる。	

未来自治体全国大会2023

■未来自治体全国大会2023 優勝【宮崎大会選出 チーム child × dot】 プラン4-4

エリア	チーム名
宮崎エリア	child × dot
※新しい税金を作る、クラウドファンディングなど、歳入の増加率は禁止です。	
予算	
重点政策1:○○億円(政策にかかる費用)	
根拠 テキストボックス	
重点政策2:○○億円(政策にかかる費用)	
根拠 テキストボックス	
重点政策3:○○億円(政策にかかる費用)	
根拠 テキストボックス	
重点政策3つの総予算:△△億円	
変更する歳出項目	いくら変更するか
変更する方法	
テキストボックス	テキストボックス

エリア	チーム名
宮崎エリア	child×dot
予算による影響と対応	
予算変更によって起こる悪影響 (誰がどのような不利益を被るか)	
・ ・	
悪影響への対処策 (不利益を被る個人・世帯・団体・法人への対応策)	
・ ・	

未来自治体

未来自治体
全国大会2023

15都市、計23回開催

	参加自治体	開催期間	参加者
未来流山市2012	千葉県 流山市	2012年4月7日 ～4月22日	50名
未来奈良市2012	奈良県 奈良市	2012年8月26日 ～11月18日	45名
未来鎌倉市2012	神奈川県 鎌倉市	2012年11月3日 ～12月15日	63名
未来仙台市2012	宮城県 仙台市	2012年11月11日 ～12月16日	40名
未来仙台市2013	宮城県 仙台市	2013年6月2日 ～7月14日	46名
未来仙台市2014	宮城県 仙台市	2013年7月19日 ～10月12日	40名
未来松坂市2013	三重県 松坂市	2013年10月12日 ～12月15日	49名
未来松阪市2014	三重県 松阪市	2014年8月9日 ～10月12日	47名
未来茅ヶ崎市2014	神奈川県 茅ヶ崎市	2014年7月12日 ～8月31日	42名
未来松坂市2015	三重県 松坂市	2015年10月10日 ～12月19日	45名
未来茅ヶ崎市2015	神奈川県 茅ヶ崎市	2015年12月13日 ～2016年3月5日	49名
未来氷見市2015	富山県 氷見市	2016年1月16日 ～3月21日	44名
未来石巻市2016	宮城県 石巻市	2016年7月23日 ～9月25日	32名
未来泉佐野市2017	大阪府 泉佐野市	2017年2月7日 ～年3月27日	26名
未来石巻市2017	宮城県 石巻市	2017年7月22日 ～10月29日	80名
未来高松市2017	香川県 高松市	2017年8月20日 ～11月5日	41名
未来茅ヶ崎市2017	神奈川県 茅ヶ崎市	2017年9月10日 ～11月12日	46名
未来湖南市2017	滋賀県 湖南市	2017年9月17日 ～11月19日	42名
未来茅ヶ崎市2018	神奈川県 茅ヶ崎市	2018年9月8日 ～11月11日	34名
未来茨木市2018	大阪府 茨木市	2018年9月24日 ～11月25日	31名
未来木更津市2019	千葉県 木更津市	2019年7月7日 ～9月28日	53名
未来浜松市2019	静岡県 浜松市	2019年8月3日 ～10月5日	51名
未来甲賀市2022	滋賀県 甲賀市	2022年9月14日 ～11月19日	51名

自治体リーダーシミュレーション

未来自治体
 全国大会 2023

8都市、計8回開催

	参加自治体	開催期間	参加者	大会の様子
習志野市 自治体リーダー シミュレーション	千葉県 習志野市	2013年 3月30日	23名	
笠間市 自治体リーダー シミュレーション	茨城県 笠間市	2013年 8月17日	23名	
鎌倉市 自治体リーダー シミュレーション	神奈川県 鎌倉市	2013年 9月22日	21名	
稲城市 自治体リーダー シミュレーション	東京都 稲城市	2013年 9月27日	25名 (自治体職員のみ)	
上越市 自治体リーダー シミュレーション	新潟県 上越市	2013年 12月8日	28名	
成田市 自治体リーダー シミュレーション	千葉県 成田市	2013年 3月30日	20名	
浦安市 自治体リーダー シミュレーション	千葉県 浦安市	2013年 10月5日	20名	
富山県 自治体リーダー シミュレーション	富山県	2015年 3月1日	48名	

その他の事業・実績など

書籍関連

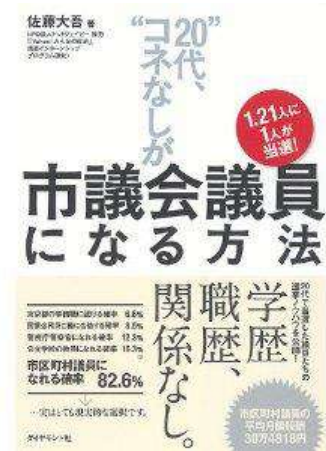
【市議会議員になる方法】

著者:佐藤大吾
協力:NPO法人ドットジェイピー
発行:ダイヤモンド社

地方議員は職業のひとつ。
選挙は就職活動だ！
社会企業化を目指す人、地元をよくしたい人、
『議員』という選択肢だってある！

地域から日本を変える仕事に就く！

- 第1章 市議会議員になるのは無謀な挑戦じゃない！
- 第2章 出馬を決意したらさっそく活動開始！
- 第3章 いよいよ決戦の時！選挙戦スタート！
- 第4章 若手議員・市長にインタビュー
選挙と議員生活の実際



【(当)タネダミキオでございます。】[全3巻]

漫画:塚脇永久
監修協力:佐藤大吾
発行:株式会社新潮社

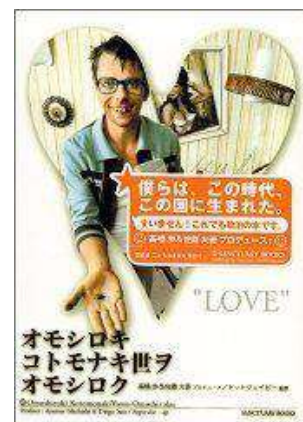
色々悩んでる読者の皆様(25歳以上)へ
次の選択肢は「政治家」でいいんじゃない!?
カネなし、学歴なし、コネなし。
世間と自分に苛立ちと不満ばかりを持つ青年が
成り行き上イキナリ選挙に立候補!?
この漫画を読めば、次の選挙に出たくなる。
そして自分と世界を変えたいくなる!!
ドットジェイピーは本作品に監修協力しています。



【オモシロキコトモナキ世ヲオモシロク】

プロデュース:高橋歩&佐藤大吾
監修:NPO法人ドットジェイピー
発行・発売:サンクチュアリ出版

- リアル&スピリッツ。
政治のリアルな現状を、ビジュアルと言葉で伝えます。
- 未来の日本へのメッセージ。
20代、30代前半の現役バリバリで活躍している政治家たちを紹介。
- 「カネなし、コネなし、20代、地方選挙、無所属、初挑戦」のための選挙徹底マニュアル。
- コミックガイド。
厳選したイラストと名セリフを魅せる、最強のコミックガイド。



メディア掲載実績一覧 ①

従来のインターンシッププログラム、選挙に向けたイベントなど、ドットジェイピーの取り組みは、多くのメディアで取り上げて頂いております。

10月1日 北海道新聞にて

北海道でのインターンシップの集大成であり、統一地方選挙への啓発活動でもある最終報告会の様子が掲載
「地域の課題 身近になった インターンシップ参加 大学生が報告会」

10月1日 小美玉市 市報 広報おみたまにて

茨城での学生代表のコメントが掲載「気になるあの入」

10月15日 北海道自治研究2022年10月号にて

北海道での、議員の鼎談、議員インターンシップの受け入れについてのコメントが掲載
「鼎談 政治に参加する意味・意義とは何か -議員から伝えたいこと」

10月20日 神奈川新聞・神奈川新聞WEBにて

弊団体主催の政策立案コンテストである未来国会2022の、優勝チームへのインタビューの様子が掲載
「非常時にも強い社会を 政策コンテスト 県内大学生が全国V」

11月1日 熊本県雑誌T1パークにて

熊本で、大学生と行政機関・民間企業職員が交流するイベントの様子が掲載
「学生団体NPO法人ドットジェイピー熊本エリアが就活合同イベントを開催！」

11月9日 熊本日新聞・西日本新聞・熊日WEB・西日本新聞WEB・dmenuニュース・goo!ニュース・47ニュース・Yahoo！ニュース・LINEニュース・マイクロソフトニュース・ニュースコレクト・SmartNewsにて

熊本での、熊本市長選挙に向けた県内の高校での出前授業の様子が掲載
「熊本市長選前に熊本農業高生が模擬投票で選挙学ぶ 候補者役は大学生」
『「街を知るきっかけに」NPOが後押し』

11月11日 FMK・KAB・熊日・その他WEBにて

熊本での、熊本市長選挙に向けた、選挙割引運動である「センキョ割」の様子が掲載
「投票率アップにむけ、県内の大学生が飲食店と協力し、センキョ割開催」
「大学生が高校生に選挙の授業、投票証明書をクーポンにセンキョ割」
『熊本市長選に投票で居酒屋やカフェがサービス 13～20日「センキョ割」、大学生のNPO協力』

11月26日 福島民友新聞にて

福島での、学生が県産品を使って新たな商品を考える「六次産業×新商品開発コンテスト」の様子が掲載
「福島大生ら県産品の商品発表」

11月28日 朝日新聞・SmartNews・goo!ニュース・dmenuニュースにて

香川での、統一地方選挙に向けたスタッフの議論の様子が掲載
「若者の投票率アップ 四国3県の大学生 高松で勉強会」

11月28日 熊本日新聞・熊日WEBにて

熊本での、学生と議員の交流イベント「議員交流会」の様子が掲載
「学生と地方議員、意見交換し交流 熊本市、NPO企画」

12月4・10・11日 茨城新聞・朝日新聞・ニュースコレクト・NEWS PICKS・YAHOO！ニュース・47NEWS・グノシー・その他WEBにて

茨城での、茨城県議会議員選挙に向けた、選挙割引運動である「センキョ割」の様子が掲載
『若者よ、投票へ行こう 茨城県内協力店「センキョ割」 つくば・水戸・日立で20点』
『県議選、若年層の投票率アップへ 「センキョ割」や大学生制作動画』

12月10日 MRT宮崎放送にて

宮崎県知事選挙に向けて宮崎支部スタッフへの密着取材の様子が掲載
『政治に触れた大学生「もっと関心を」』
『前回宮崎県知事選挙の20代投票率18.62%「もっと関心を」若者と選挙について考える』

メディア掲載実績一覧 ②

従来のインターンシッププログラム、選挙に向けたイベントなど、ドットジェイピーの取り組みは、多くのメディアで取り上げて頂いております。

12月10日 MRT宮崎放送にて

宮崎県知事選挙に向けて宮崎支部スタッフへの密着取材の様子が掲載

『政治に触れた大学生「もっと関心を」』

『前回宮崎県知事選挙の20代投票率18.62%「もっと関心を」若者と選挙について考える』

12月20日 茨城新聞・茨城新聞WEBにて

茨城での、茨城県副知事と学生スタッフの意見交換会の様子が掲載

「若年投票率なぜ低い？ 向上へ意見交換」

12月19日 茨城大学新聞にて

茨城での、筑波大学の活動であるT-ACTにつくば支部スタッフが協力し、その模擬選挙プロジェクトの様子が掲載

「T-ACT筑波大生が模擬選挙実施 茨城県議選題材に」

12月22日 UMKテレビ宮崎、MRT宮崎放送、宮崎日日新聞、Yahoo!ニュース、LINEニュース、その他Webにて

宮崎県知事選挙の啓発活動としてチラシ配りの様子が掲載

「宮崎県知事選挙 学生団体が高校生に投票呼びかけ」

「宮崎県知事選挙 若者の投票率アップを 大学生が選挙権を持つ高校生に投票を呼びかけ」

「若者 政治に興味を NPO啓発、宮崎市で意識調査」

12月24日 南日本新聞にて

鹿児島での、学生と議員の交流イベント「議員交流会」の様子が掲載

「投票率の向上へ 学生と議員交流」

1月8日 丸亀市成人式冊子にて

香川県丸亀市で成人を迎えた弊社団体スタッフが、活動を紹介する様子が掲載

「私が選挙に行く理由」

1月20日 朝日新聞、RKB毎日放送、読売新聞、SmartNews、その他Webにて

福岡での、北九州市長選挙2023に向けた公開討論会の様子が掲載

「出馬表明4人が初めて同じ討論会場に…しかし1人は20分で退席」

「立候補予定者が公開討論 市立大生ら企画、4人参加」

2月1日 北海道新聞にて

北海道での、議員インターンの開幕である「キックオフイベント」の様子が掲載

「札幌圏の学生20人 政治の仕組み学ぶ」

2月6日 読売新聞にて

愛知での、愛知県知事選挙に向けて活動する愛知支部スタッフへのインタビューの様子が掲載

「若い人が輝ける県を願う」

2月8日 神戸新聞にて

兵庫支部スタッフのコメントが掲載

「議員活動学ぶインターン企画」

2月28日 テレビ大阪にて

NPO法人ドットジェイピーがDAO化へ動く、その様子が掲載

「DAOに移行するNPO法人に取材」

3月7日 宮崎日日新聞にて

宮崎市長と大学生の座談会の様子が掲載

「議員インターンシップ体験 大学生が市長と意見交換」

メディア掲載実績一覧 ③

従来のインターンシッププログラム、選挙に向けたイベントなど、ドットジェイピーの取り組みは、多くのメディアで取り上げて頂いております。

3月9日 北海道新聞にて

北海道での、恵庭市長と大学生の座談会の様子が掲載

「統一地方選挙、どうしたら関心持てますか？大学生が恵庭市長と座談会」

3月9日 宮崎日日新聞にて

議員インターンシップ活動にてジェンダー問題意見交換の様子が掲載

「ジェンダー問題 学生ら意見交換」

3月12日 HBC、北海道新聞、毎日新聞

北海道での、統一地方選挙啓発である模擬公開討論会の様子が掲載

「大学生のNPO法人「模擬選挙」企画 描く将来像 候補者が語って」

「もしも自分が札幌市長なら…大学生が政策を訴える模擬投票 若者の投票率向上目指す」

「札幌市長選模擬投票”候補”は学生 NPO法人実施 若者の政治参加促す」

3月14日 中日新聞にて

東海地方での、未来自治体全国大会2023地方決勝大会東海大会の様子が掲載

「30年後の理想の自治体を描く」

3月17日・18日 HBC北海道放送・北海道新聞・毎日新聞にて

北海道での、統一地方選挙の啓発活動である、模擬選挙の様子が掲載

「もしも自分が札幌市長なら…大学生が政策を訴える模擬投票 若者の投票率向上目指す」

「模擬投票”候補”は学生 NPO法人実施 若者の政治参加促す」

『日常と政治 接点伝える 大学生のNPO法人「模擬選挙」企画』

3月24日 読売新聞にて

山形での、大学生と山形市議との対話イベントの様子が掲載

「議員なり手確保が課題」

ご協賛企業一覧

【山形エリア】

株式会社 マイナビ

【茨城エリア】

株式会社 長寿荘

水戸ヤクルト販売株式会社

茨城水産 株式会社

社会福祉法人 征峯会

株式会社 茨日ホールディングス

株式会社 アドバンフォースグループ

【長崎エリア】

株式会社 稲佐山観光ホテル

【宮崎エリア】

株式会社 Misumi

【鹿児島エリア】

株式会社 Misumi

【全社】

株式会社 就活のお父さん

株式会社 ビーウェル

ご支援ご協力に心より感謝申し上げます。



若者と政治を結ぶ
NPO法人ドットジェイピー

URL:<http://www.dot-jp.or.jp>